



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和元年 6月14日

越谷市長 殿

提出者

住 所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2  
氏 名 ポラテック(株)  
代表取締役 中内 晃次郎  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
連絡窓口 ポラテック(株)業務推進課  
電話番号 048-985-5215

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 ポラテック(株)

事業場の所在地 埼玉県越谷市新越谷1-71-2

計画期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類 総合工事業

② 事業の規模 完成売上高1,475,100万円

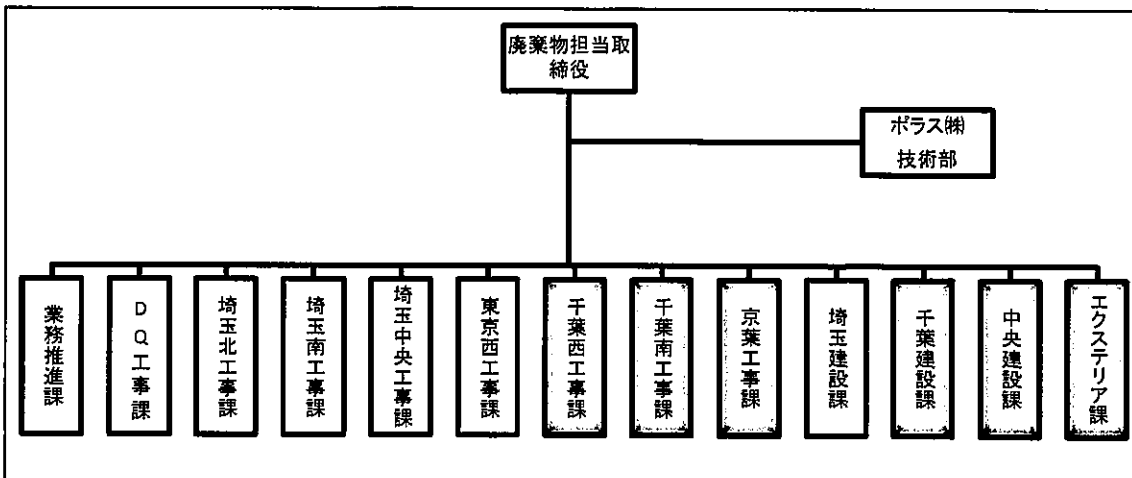
③ 従業員数 134名(令和元年5月21日現在)

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

木くず→破碎→再生利用  
廃プラスチック類→圧縮梱包→再生利用  
がれき類→破碎→再生利用  
紙屑→圧縮梱包→再生利用  
金属くず→破碎→再生利用  
ガラス陶磁器→破碎→再生利用  
混合廃棄物→破碎・圧縮梱包→再生利用

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表2参照	
	排出量	別紙A表2参照	2506.86 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表3参照	
	排出量	別紙A表3参照	2256.17 t
	(今後実施する予定の取組)		
上記①を一層向上させる			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体工事では特定建設資材、新築工事では段ボール・木くず・金属くず・がれき類・石膏ボード・廃プラ(塩素系を除く)の一部を分別し、できるだけ再生委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成30年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表2参照	
	全処理委託量	2506.86 t	t
	優良認定業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	267.80 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
解体工事 建り法特定建設資材や金属くずは専門再生業者へ委託			
新築工事 木くずや廃プラスチックの一部はRPF製造業者へ、石膏ボードは広域認定メーカーへ再生委託			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A表3参照	
	全処理委託量	2256.17 t	t
	優良認定業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	241.02 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
上記の実績と同様			
※事務処理欄			

## 別紙A

昨年度（平成 30 年度）の目標 産業廃棄物発生量 &lt;表1&gt;

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	混合廃棄物	合計
重量(t)	413.03	70.31	241.34	0.26	63.36	15.62	60.48	1043.69	0.00	237.04	2145.13

昨年度（平成 30 年度）の実績 産業廃棄物発生量 &lt;表2&gt;

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	混合廃棄物	合計
容量(m <sup>3</sup> )	1036.71	529.95	97.90	0.50	548.70	8.00	55.95	860.45	0.00	779.65	3917.81
重量換算係数(t/m <sup>3</sup> )	0.40	0.15	1.60	0.07	0.15	0.46	1.60	1.50	1.00	0.50	
重量(t)	414.68	79.49	156.64	0.04	82.31	3.68	89.52	1290.68	0.00	389.83	2506.86

本年度（令和 元年）の目標 産業廃棄物発生量 &lt;表3&gt;

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	混合廃棄物	合計
重量(t)	373.22	71.54	140.98	0.03	74.07	3.31	80.57	1161.61	0.00	350.84	2256.17

昨年度（平成 30 年度）の実績 産業廃棄物再生委託量 &lt;表4&gt;

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず(ダンボール)	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	混合廃棄物	合計
重量(t)	77.24		138.56				52.00				267.80

本年度（令和 元年）の目標 産業廃棄物再生委託量 &lt;表5&gt;

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず(ダンボール)	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	混合廃棄物	合計
重量(t)	69.52	0.00	124.70	0.00	0.00	0.00	46.80	0.00	0.00	0.00	241.02